

影響の可能性が指摘されている外来生物（植物）の例（未定稿）

生態系、人の生命・身体及び農林水産業に係る影響の可能性が指摘されている外来生物について、平成14年8月の「移入種（外来種）への対応方針」に掲載された資料をもとに、「外来種ハンドブック（2002 生態学会編）」など最近の文献や海外での情報等を踏まえ、再整理したものである。

本資料は、今後の特定外来生物等の選定に当たっての便宜に資するため、検討のための素材として粗い精度の情報を取りまとめたものである。

影響の可能性が指摘されている外来生物(維管束植物)

分類	科名	和名	学名	生態系への影響				農林水産業への影響	人体・生命への影響	備考	
				捕食	競争・駆逐	環境等の攪乱	遺伝的な攪乱				
シダ植物	アカウキクサ	アメリカアカウキクサ	<i>Azolla caroliniana Willd.</i>								
	サンショウモ	オオサンショウモ	<i>Salvinia molesta Mitch.</i>								
	タデ	エゾノキンキン	<i>Rumex obtusifolius L. var. agrestis (Fries) Celak</i>								
	ヤマコホウ	ヨウシュヤマコホウ	<i>Phytolacca americana L.</i>								
	アカサ	コウシュウアリアツク	<i>Chenopodium pumilio R. Br.</i>								
	ヒユ	ナガエツルノゲイトウ	<i>Alternanthera philoxeroides Griseb.</i>								
	スイレン	ハリヒユ		<i>Amaranthus spinosus L.</i>							
		ハコロモモ		<i>Cabomba caroliniana A. Gray</i>							
		ハルザキヤマガラシ		<i>Barbarea vulgaris R. Br.</i>							
		カラクサナスナ		<i>Coronopus didymus (L.) Smith</i>							
	マメ	オランダガラシ		<i>Nasturtium officinale R. Br.</i>							
		イタチハギ		<i>Amorpha fruticosa L.</i>							
		キンネム		<i>Leucaena leucocephala (Lam.) de Wit</i>							
	カタハミ	ハリエンジュ		<i>Robinia pseudacacia L.</i>							
		ムラサキカタハミ		<i>Oxalis corymbosa DC.</i>							
	アオイ	イチビ		<i>Abutilon theophrasti Medik.</i>							
		ケチフ		<i>Hibiscus cannabinus L.</i>							
	ウリ	アレチウリ		<i>Sicyos angulatus L.</i>							
		アカバナ		<i>Oenothera biennis L.</i>							
	アリノウケサ	オオアサモ		<i>Myriophyllum brasiliense Cambess.</i>							
ドクニンジン			<i>Conium maculatum L.</i>								
双子葉類・合弁花類	ミツガシラ	フランスルチドメクサ	<i>Hydrocotyle ranunculoides L.f.</i>								
	ヒルガオ	ハナカガフタ	<i>Nymphoides aquatica Ktze.</i>								
		セイヨウヒルガオ		<i>Convolvulus arvensis L.</i>							
	ナス	アメリカネナシカスラ		<i>Cuscuta pentagona Engelm.</i>							
		マルハルコウ		<i>Ipomoea coccinea L.</i>							
	ゴマノハグサ	ウルナスビ		<i>Solanum carolinens L.</i>							
		オトメアセナ		<i>Bacopa monnieri Pennell</i>							
	ハマウツボ	アメリカアセナ		<i>Lindernia dubia Pennell</i>							
		オオカワヂシャ		<i>Veronica angallis-aquatica L.</i>							
	キク	ヤセウツボ		<i>Orobanche minor Sm.</i>							
		ヘラオオハコ		<i>Plantago lanceolata L. var. lanceolata</i>							
		ネバリノキク		<i>Aster novae-angliae</i>							
		フタクサ		<i>Ambrosia elatior L.</i>							
		オオフタクサ		<i>Ambrosia trifida L.</i>							
		カミツレモトキ		<i>Anthemis cotula L.</i>							
		ハイヨモギ		<i>Artemisia sieversiana Willd.</i>							
		アメリカセンダングサ		<i>Bidens frondosa L.</i>							
		クサアユキセンダングサ		<i>Bidens pilosa</i>							
		アメリカオニアザミ		<i>Cirsium vulgare (Savi) Ten.</i>							
		アレチノキク		<i>Conyza bonariensis (L.) Cronquist</i>							
オオアレチノキク			<i>Conyza sumatrensis (Retz.) Walker</i>								
オオキンケイキク			<i>Coreopsis tinctoria Nutt.</i>								
ハルシヤキク			<i>Coreopsis tinctoria Nutt.</i>								
アヲコガネキク			<i>Dendranthema boreale (Makino) Kitam.</i>								
ヒメムカシヨモギ			<i>Erigeron canadensis L. var. canadensis</i>								
ハルシオン			<i>Erigeron philadelphicus L. var. philadelphicus</i>								
ミスヒマワリ		<i>Gymnocoronis spilanthoides DC.</i>									
	クワイモ		<i>Helianthus tuberosus L.</i>								

影響の可能性が指摘されている外来生物の例（未定稿）に係る主な参考文献

維管束植物

一般（複数種）

清水建美（2003）日本の帰化植物．平凡社．

清水矩宏・森田弘彦・廣田伸七（2001）日本帰化植物写真図鑑．全国農村教育協会．

浅井康宏（1993）緑の侵入者たち（帰化植物のはなし）．朝日選書．朝日新聞社．

山岡文彦（1975）帰化植物100種 最も身近な帰化植物100種の渡来、形態、生産地、分布．ニューサイエンス社．

日本生態学会（2002）外来種ハンドブック．

外来種影響・対策研究会（2001）河川における外来種対策の考え方とその事例 - 主な侵略的外来種の影響と対策 - ．リバーフロント整備センター．

多田多恵子（2002）身近なエイリアンたちの横顔, プランタ, 83 : 31-37.

Miyawaki S. and Washitani, I (2004) Invasive Alien Plant Species in Riparian Areas of Japan: The Contribution of Agricultural Weeds, Revegetation Species and Aquacultural Species . Global Environmental Research , 8 (1) : 89-101

竹松哲夫・一前宣正（1987）世界の雑草 合弁花類．全国農村教育協会．

竹松哲夫・一前宣正（1993）世界の雑草 離弁花類．全国農村教育協会．

竹松哲夫・一前宣正（1997）世界の雑草 単子葉類．全国農村教育協会．

日本植物調節剤研究協会・中華人民共和国農業部農薬検定所（2000）中国（中華人民共和国）雑草原色図鑑．全国農村教育協会．

農林水産技術会議事務局（1998）研究成果326 強害帰化植物の蔓延防止技術の開発．農林水産技術会議事務局．

草薙得一・近内誠登・芝山秀次郎（1994）雑草管理ハンドブック．朝倉書店

水草関係

角野康郎（1994）日本水草図鑑．文一総合出版．

角野康郎（1996）帰化植物による在来の自然への影響 - 帰化水草を中心に - 関西自然保護機構会報, 18 (2) : 115-120 .

角野康郎（2001）侵入する水生植物 移入・外来・侵入種, 105-118 . 築地書館 .

角野康郎（2004）水草ブームと外来水生植物 用水と廃水, 46 (1) : 63-68 .

角野康郎（1996）ホテイアオイ 百万ドルの雑草 植物の生き残り作戦 平凡社自然叢書31, 168-178.

生嶋功（1980）コカナダモ・オオカナダモ - 割り込みと割り込まれ 日本の淡水生物 - 侵略と攪乱の生態学 - , 56-62 . 東海大学出版会 .

- 白岩卓巳 (2000) 絶滅危惧植物水生シダは生きる .
- 笠井貞夫 (2001) 印旛沼の水草の変遷 . 千葉県自然誌 本編 5 千葉県の植物 2 植生 県史シリーズ44、437-448pp.千葉県史料研究財団 .
- 林田富美子・名波哲・伊東明・山倉拓夫・進藤和政(2003)ブラジルチドメグサ(*Hydrocotyle ranunculoides* L.f.)の熊本県北部への侵入 . 関西自然保護機構会誌25(1):7-16 .
- 金沢至・鈴木友之・藤原直子 (2002) 新しい誘引植物・ミスヒマワリの逸出繁茂 . 昆虫と自然 37(6):25-28
- 須山知香・藤原直子 (2003) 日本新帰化植物ミスヒマワリ (キク科) の驚異的増殖 . 水草研会誌78:1-5 .
- 上赤博文 (1999) 佐賀平野で猛繁殖したボタンウキクサ . 水草研会報68:15-17.
- Buckingham , G.R. (1997) Exotic weeds and their biocontrol agents in aquatic ecosystems in the United States . *Biological Invasion of Ecosystem Pests and Beneficial Organism* , 211-223 . National Institute of Agro-Environmental Sciences .
- Preston C.D. and J.M. Croft(1997)*Aquatic Plants in Britain and Ireland*.365pp. Harley Books.
- Robert K. Godfrey and Jean W. Wooten (1981)*Aquatic and Wetland Plants of Southeastern United States: Dicotyledons*. University of Georgia Press.

地域事例

- 土田勝義 (1988) 霧が峰高原のヒメジョオン類の動態 .日本の植生 侵略と攪乱の生態学 ,160-180 . 東海大学出版会 .
- 土田勝義 (2002) 霧が峰高原におけるヒメジョオン類の生態と駆除について .環境情報科学論文集 , 16 : 109-114 .
- 富山清升 (1998) 小笠原諸島の移入植物による島嶼生態系への影響 .日本生態学会誌 ,48 : 63-72 .
- 吉田圭一郎 (2001) 移入植物ギンネムは在来植生にどんな影響を与えるのか? 小笠原諸島母島の事例から .植生環境学 - 植物の生育環境の謎を解く - , 189-200 .古今書院 .
- 豊田武司 (2003) 開拓と外来種による在来植生の駆逐 .小笠原植物図譜 , 429-436 .アボック社 .
- 久保田秀夫 (1972) 帰化植物 栃木県の動物と植物 , 127-137 .栃木県の動物と植物編纂委員会 .
- 久保田秀夫・松田行雄・波田善夫 (1978) 日光戦場ヶ原の植物 .栃木県林務観光部環境観光課 .